

平成29年第4回双葉町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。

9月定例会以降の行政経過についてご報告いたします。

双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画が、9月15日に内閣総理大臣の認定を受けました。帰還困難区域内の除染解体を始めとする、町内の復興まちづくりに本格的に着手できる環境が整ったところであります。

これを受け、12月9日に郡山市で、12月10日にはいわき市で、双葉町と環境省との合同による双葉町特定復興再生拠点区域内の除染・建物解体工事等に係る説明会を開催したところ、両会場併せて192人の方々に参加いただきました。今後、拠点区域内の除染・インフラ整備など、国・県と連携し取り組んでまいります。

9月16日、第11回市町村対抗福島県軟式野球大会が須賀川市牡丹台球場で、10月14日には第4回市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬光陽ソフトボール場で開催されました。選手の皆さんの復興への願いが込められた元気いっぱいのプレーに、大変勇気づけられたところです。

9月18日、震災後2回目となる双葉町敬老会を、いわき市のスパリゾートハワイアンズで開催し、県内外から多数の方々に参加いただきました。式典前には行政区ごとのテーブルに分かれ昼食交流会が行われ、久々の再会を喜び合っていました。式典では、207人の出席者を代表して93歳になられた佐藤正弘さん（郡山）へ記念品を贈呈いたしました。また、6組の金婚夫婦に福島民報社から表彰状と記念品が贈られました。式典後には、JAスマイル大正琴、コーラスふたば、民謡同好会の素晴らしいステージが披露され、出席された皆さんは楽しいひとときを過ごされていました。

10月4日、JR東日本水戸支社と「JR双葉駅東西自由通路及び橋上駅舎の整備に関する協定書」を締結しました。平成31年度末に予定されている常磐線全線開通に合わせ、供用開始を目指し整備を進めてまいります。

10月8日、いわき市の南部アリーナにおいて、震災後初となる町民体育祭に代わるスポーツイベント「ふたばスポーツフェスティバル2017」と、公益財団法人日本オリンピック委員会主催によるオリンピックとスポーツを楽

しむ「オリンピックデー・フェスタ in ふたば」を合同で開催しました。ロンドン五輪で銀メダル、リオ五輪で銅メダルを獲得した重量挙げの三宅宏美さんから5人のオリンピックがキャプテンを務める5チームに分かれて、手つなぎ鬼や小玉回し、玉入れなどの競技で汗を流し順位を競いました。参加者の皆さんは、オリンピックと触れ合いながらスポーツを通じて心身のリフレッシュを図り、参加者同士の交流を深めていました。このスポーツイベント開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

10月12日から11月4日まで、福島県内外12会場で町政懇談会を開催し、300人の方々にご出席いただきました。今回の町政懇談会では、まず私から町内復興の取り組みについて報告した後、教育長より町立学校の状況等について、担当課長より、復興まちづくり計画（第二次）や特定復興再生拠点区域復興再生計画、平成29年度住民意向調査、中間貯蔵施設計画地内町有地の取り扱い、町共同墓地の整備など復興に関する各種施策について説明を行いました。続いて、町民の皆さんから町政全般について、数多くのご意見、ご要望、ご質問等をいただきました。今後の町政運営に反映させるべく検討してまいります。

10月28日、29日の両日、勿来地区文化協会のご支援により、いわき市勿来体育館で開催された勿来地区総合文化展において第4回双葉町民作品展覧会を開催しました。町立小・中学校の児童生徒を初め、いわき市、加須市などから町民の皆さんの作品が出展されました。また、29日には、いわき市勿来市民会館において勿来地区総合芸能祭が開催され、双葉町からはコーラスふたば、JAスマイル大正琴、民謡同好会の3団体が出演し、勿来地区の皆さんと文化交流を図りました。

11月1日、町道山田・郡山線の富沢橋架け替え工事に伴う、現橋撤去工事が環境省により着工されました。今年度中には撤去が完了し、平成31年度末までには、幅員11.5メートル、橋長41.2メートルの新しい橋に架け替えられる予定であります。

11月3日、いわき事務所において、平成29年度表彰式を挙行政いたしました。

式では、特別功労表彰、功労表彰をそれぞれ1名の方に、永年勤続表彰を11名の方々に、感謝状を3団体にお贈りいたしました。

これまで多年にわたりそれぞれの職務に精励努力されてきた方々の功績を称

え、また、避難者支援にご尽力いただいた方々に心から感謝の意を申し上げるとともに、双葉町の復興の諸課題への対応に向けて、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げます。

同じく11月3日、幼稚園・小・中学校による「梅檀祭」が、双葉町立学校仮設校舎体育館において開催されました。総合的な学習の発表や、子供たちが一生懸命練習を重ねた標葉せんだん太鼓や創作劇、合唱などが発表され、参観された皆さんに大きな感動を与えました。

11月7日、8日の両日、郡山ビッグアイで、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催の第30回双葉町総合美術展と第4回双葉町民作品展覧会が開催され、すばらしい作品が展示されました。多くの町民の皆さんが会場を訪れ、作品を鑑賞するとともに再会を喜び合っていました。

11月11日、平成29年双葉町消防団検閲式を、双葉町立学校仮設校舎体育館で開催いたしました。61年振りに新しく制作された団旗のもと、団長の指揮により、閲団と通常点検が行われ、団員の皆さんの士気の高さを確認いたしました。

11月19日、第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が開催されました。選手の皆さんは、北塩原村などで2回の合宿を行い、チームワークを高め、当日は心を一つに大会に臨み、見事な走りを見せてくれました。選手の頑張りには、町民の皆さんに、元気と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援していただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

12月5日に町道前田・長塚線外1路線3箇所の国の災害査定が実施され、国費負担による復旧工事が認められました。今後も災害復旧等を実施し、双葉町の復興を加速させてまいります。

12月4日、5日の2日間、平成30年度国の予算要求に向けた要望活動を行いました。特に、被害実態に即した賠償と生活支援の実施、高速道路の無料措置の延長、医療費一部負担金等の減免の継続と生活再建支援金の継続、町内除染の早期かつ計画的な実施など、町の復興再生に向けた重点課題について関係省庁へ強く要望いたしました。

中間貯蔵施設の受入・分別施設、土壌貯蔵施設についてですが、10月28

日に大熊町の土壌貯蔵施設で貯蔵が開始されたことを踏まえ、10月30日に中間貯蔵に関する専門家会議、11月14日に中間貯蔵施設環境安全委員会が双葉、大熊町の両施設を視察し、安全性の検証が行われました。

いわき市勿来酒井団地の整備状況ですが、10月末現在における工事進捗率は、基盤整備工事が98パーセント、集合住宅建築工事が74パーセント、木造戸建て住宅建築工事が2パーセントとなっております。

中野地区復興産業拠点整備についてですが、10月25日にUR都市機構（独立行政法人都市再生機構）と締結した業務委託契約を踏まえ、UR都市機構による設計施工一括での発注が行われ、平成30年度における一部供用開始に向け取り組んでいるところです。

復興まちづくり計画（第二次）を具現化させるための取り組みについては、庁内の検討組織である復興まちづくり計画推進会議幹事会のワーキンググループでの検討結果及び復興町民委員会などからのご意見を踏まえ、復興まちづくり計画（第二次）に係る実施計画の改訂に向け、取り組んでまいります。

最後に本定例会に提案いたしました、案件について申し上げます。条例の制定が2件、条例の一部改正が5件、補正予算（案）が4件、土地の取得が1件、合わせて12件となりますので、慎重なるご審議をいただき、議決賜りますようお願い申し上げます。